Cisco IP 電話のハードウェア

- Cisco IP 電話 6800シリーズ マルチプラットフォーム フォン の概要 （1 ページ）
- Cisco IP 電話 6821 マルチプラットフォーム フォン 接続 （2 ページ）
- Cisco IP 電話 6841 マルチプラットフォーム フォン 接続 （3 ページ）
- Cisco IP 電話 6851 マルチプラットフォーム フォン 接続 （4 ページ）
- Cisco IP 電話 6861 マルチプラットフォーム フォン 接続 （5 ページ）
- Cisco IP 電話 6821 マルチプラットフォーム フォン ボタンとハードウェア （6 ページ）
- Cisco IP 電話6841、6851、および 6861 マルチプラットフォーム フォンのボタンとハードウェア （8 ページ）
- ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン （10 ページ）
- 用語の違い （11 ページ）

Cisco IP 電話 6800シリーズ マルチプラットフォーム フォン の概要

Cisco IP 電話 6800シリーズ マルチプラットフォーム フォンは、IP ネットワーク経由で音声通信を実現するフル機能の VoIP（Voice-over-Internet Protocol）電話機で構成されます。これらの電話機は、コール転送、リダイヤル、短縮ダイヤル、コール転送、会議コールなど、従来のビジネス フォンのすべての機能を提供します。Cisco IP 電話 6800シリーズ マルチプラットフォーム フォンは、サードパーティ SIP ベースの IP PBX を中心としたソリューションを対象としています。

次の図の左側が Cisco IP 電話 6821 マルチプラットフォーム フォン です。Cisco IP 電話 6841 および 6851 マルチプラットフォームフォンは同じように見え、中央にあります。Cisco IP 電話 6851 マルチプラットフォーム フォンサポートキー拡張モジュール (KEM)。Cisco IP 電話 6861 マルチプラットフォーム フォンは右側にあります。

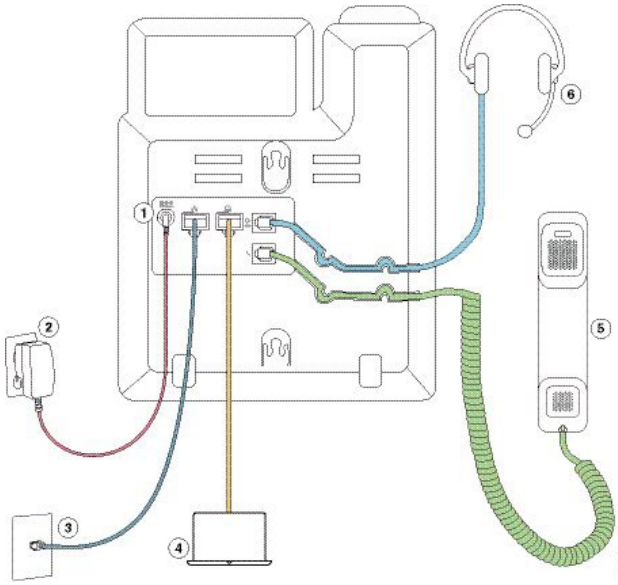
図 *1 : Cisco IP* 電話 *6800*シリーズ マルチプラットフォーム フォン

（注） このマニュアルで、「*Cisco IP* 電話」、「電話機」、または「デバイス」は、 Cisco IP 電話 6800シリーズ マルチプラットフォーム フォンのことを指しています。

Cisco IP 電話 6821 マルチプラットフォーム フォン 接続

電話機のすべての機能を利用できるようにするには、イーサネット ケーブルを使用して電話機を LAN に接続します。イーサネット ポートに Power over Ethernet（PoE）が搭載されている場合は、LAN ポート経由で電話機に電力を供給できます。PoE が利用できない場合は、電源アダプタを使用して、電話機に給電する必要があります。イーサネット ケーブルを建物外部まで延ばさないでください。電話機が機能するには、電話機が IP テレフォニー ネットワークに接続されている必要があります。

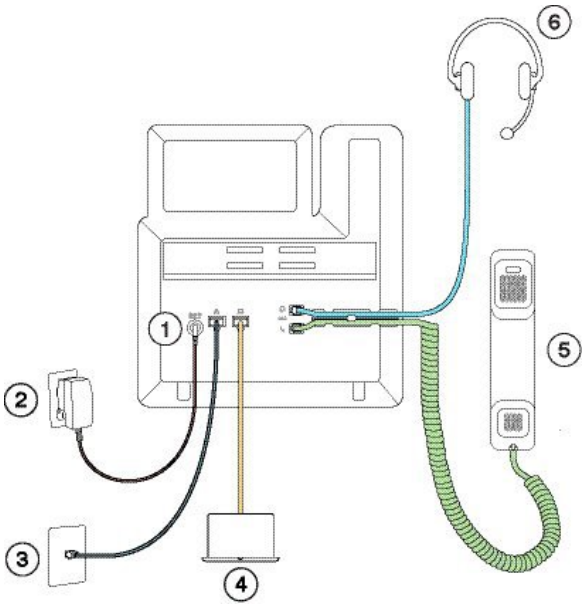
図 *2 : Cisco IP* 電話 *6821* マルチプラットフォーム フォン接続



1	DC アダプタ ポート（オプション）	4	アクセス ポート（10/100 PC）の接続（オプション）
2	電源アダプタ（オプション）	5	ハンドセットの接続
3	IEEE 802.3af 電源が有効化されたネットワーク ポート（10/100 SW）接続	6	アナログ ヘッドセット接続（任意）

Cisco IP 電話 6841 マルチプラットフォーム フォン 接続

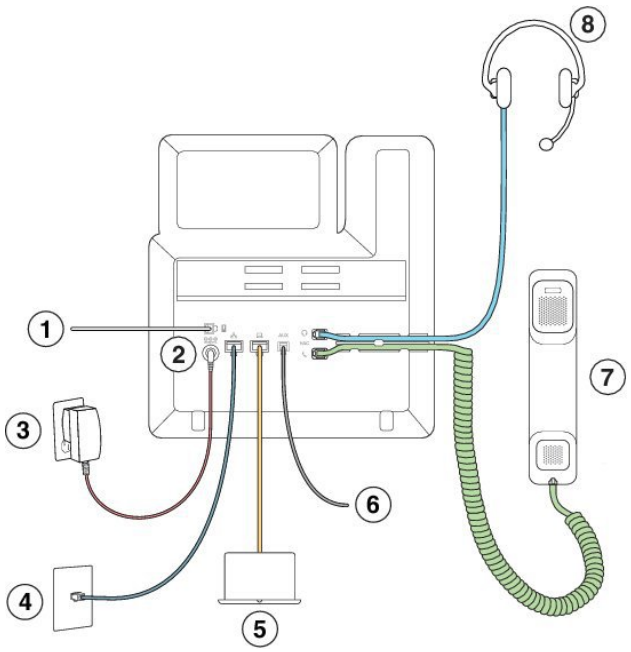
電話機のすべての機能を利用できるようにするには、イーサネット ケーブルを使用して電話機を LAN に接続します。電話機に電力を供給する電源アダプタが必要です。LAN イーサネット ケーブルは建物の外部まで延長しないでください。電話機が機能するには、電話機が IP テレフォニー ネットワークに接続されている必要があります。



1	DC アダプタ ポート	4	アクセス ポート（10/100/1000 PC）の接続（オプション）
2	電源アダプタ	5	ハンドセットの接続
3	ネットワーク ポート（10/100/1000 SW）の接続	6	アナログ ヘッドセット接続（任意）

Cisco IP 電話 6851 マルチプラットフォーム フォン 接続

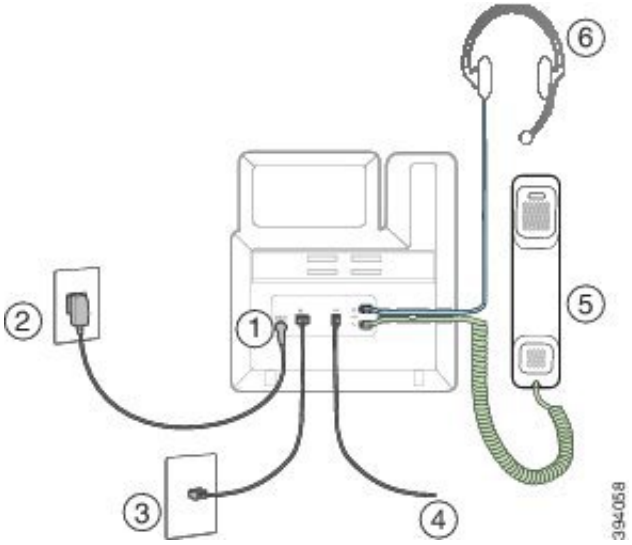
電話機のすべての機能を利用できるようにするには、イーサネット ケーブルを使用して電話機を LAN に接続します。イーサネット ポートに Power over Ethernet（PoE）が搭載されている場合は、LAN ポート経由で電話機に電力を供給できます。PoE が利用できない場合は、電源アダプタを使用して、電話機に給電する必要があります。LAN イーサネット ケーブルは建物の外部まで延長しないでください。電話機が機能するには、電話機が IP テレフォニー ネットワークに接続されている必要があります。



1	キー拡張モジュールのポート	5	アクセス ポート（10/100/1000 PC）の接続（オプション）
2	DC アダプタ ポート（オプション）	6	補助ポート（オプション）
3	電源アダプタ（オプション）	7	ハンドセットの接続
4	IEEE 802.3af 電源が有効化されたネットワーク ポート（10/100/1000 SW）接続	8	アナログ ヘッドセット接続（任意）

Cisco IP 電話 6861 マルチプラットフォーム フォン 接続

電話機のすべての機能を利用できるようにするには、イーサネット ケーブルまたは Wi-Fi を使用して電話機を LAN に接続します。電話機に電力を供給する電源アダプタが必要です。電話機を有線ネットワークに接続する場合は、LAN のイーサネットケーブルを建物の外に拡張しないでください。電話機が機能するには、電話機が IP テレフォニー ネットワークに接続されている必要があります。



1	DC アダプタ ポート	4	補助ポート（オプション）
2	電源アダプタ	5	ハンドセットの接続
3	ネットワーク ポート（10/100 SW）接続	6	アナログ ヘッドセット接続（任意）

Cisco IP 電話 6821 マルチプラットフォーム フォン ボタンとハードウェア

次の図は、Cisco IP 電話 6821 マルチプラットフォーム フォン を示します。

図 *3 : Cisco IP* 電話 *6821* マルチプラットフォーム フォン

1	ライト ストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイス メッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	電話回線、機能、コール セッションにアクセスできます。 詳細については、ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン （10 ページ） を参照してください。
3	ソフトキー ボタン	電話会議や転送などの機能およびサービスにアクセスします。 詳細については、ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン （10 ページ） を参照してください。
4	ナビゲーション クラスタ	ナビゲーション リングと選択 ボタン。メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。

5	**[アプリケーション（Applications）]** および **[ヘッドセット（Headset）]**	[アプリケーション（Applications）] : 通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。 [ヘッドセット（Headset）] : ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがアクティブの場合、ヘッダー内にヘッドセットのアイコンが表示されます。
6	**[ミュート（Mute）]**、および **[スピーカーフォン（Speakerphone）]**	[ミュート（Mute）] : マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクの音声がミュートになっている場合、ミュートアイコンが画面上で点滅しています。 [スピーカーフォン（Speakerphone）] : スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。
7	音量 ボタン	− + ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカーフォンの音量（オフ フック）と呼出音の音量（オン フック）を調整します。

Cisco IP 電話6841、6851、および 6861 マルチプラットフォーム フォンのボタンとハードウェア

次の図は、Cisco IP 電話 6841 を示しています。

図 *4 : Cisco IP* 電話 *6841*、*6851* および *6861* マルチプラットフォーム電話機のボタンと機能

1	ハンドセットとハンドセット ライト ストリップ	着信コール（赤色に点滅）または新しいボイス メッセージ（赤色に点灯）があるかどうかを示します。
2	プログラム可能な機能ボタンと回線ボタン	電話回線、機能、コール セッションにアクセスできます。 詳細については、ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン （10 ページ） を参照してください。
3	ソフトキー ボタン	機能とサービスにアクセスします。 詳細については、ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン （10 ページ） を参照してください。
4	ナビゲーション クラスタ	ナビゲーション リングと選択ボタン。メニューをスクロールして項目を強調表示し、強調表示された項目を選択できます。
5	保留/再開、会議、および転送	保留/再開 ：アクティブ コールを保留にしたり、保留中のコールを再開したりします。 会議 ：電話会議を作成します。 転送 ：コールを転送します。

6	スピーカーフォン、ミュート、およびヘッドセット	[スピーカーフォン（**Speakerphone**）]：スピーカフォンのオン/オフを切り替えます。スピーカフォンがオンになっているとき、ボタンは点灯しています。 [ミュート（**Mute**）]：マイクロフォンのオン/オフを切り替えます。マイクロフォンがミュートになっているとき、ボタンは点灯しています。 [ヘッドセット（**Headset**）]：ヘッドセットのオン/オフを切り替えます。ヘッドセットがオンになっているときは、ボタンが点灯します。
7	連絡先、アプリケーション、およびメッセージ	連絡先：個人用ディレクトリや社内ディレクトリにアクセスします。 [アプリケーション（Applications）]：通話履歴、ユーザ設定、電話機の設定、電話機のモデル情報にアクセスします。 メッセージ：ボイス メッセージング システムを自動的にダイヤルします。
8	音量 ボタン	 ハンドセット、ヘッドセット、およびスピーカーフォンの音量（オフ フック）と呼出音の音量（オン フック）を調整します。

ソフトキー、回線ボタン、機能ボタン

電話機で対話式に機能を操作する方法がいくつかあります。

- ソフトキーは画面の下にあり、ソフトキーの上の画面に表示されている機能にアクセスできます。ソフトキーは、その時点で行っている操作に応じて変化します。**[その他...（More...）]** ソフトキーは、その他にも使用可能な機能があることを示しています。
- 機能と回線のボタンを使用して、電話の機能と電話回線にアクセスできます。Cisco IP 電話 6821 の場合、画面の左側にある各ボタン。Cisco IP 電話 6841、6851 および 6861 の場合、画面の一方の側にある各ボタン。
  - 機能ボタン：[短縮ダイヤル（Speed dial）] や [コールピックアップ（Call pickup）] などの機能で使用します。また、別の回線での自分のステータスを表示するために使用します。

- 回線ボタン：通話を始めたり、着信通話に応答したり、保留中のコールを再開するために使用します。回線キーを使用して、コールセッションウィンドウを開いたり閉じたり、コールセッションウィンドウをナビゲートすることもできます。回線上のコールを表示するには、コールセッションウィンドウを開きます。

機能ボタンと回線ボタンの点灯は、次のようなステータスを示します。

- または 緑色：回線がアイドル状態です。
- または 赤色、点灯：回線がアクティブ状態または使用中。
- または 赤、点滅 ：回線が保留中または着信通話あり。
- または オレンジ、点灯 ：回線が未登録（使用できません）。

一部の機能をソフトキーまたは機能ボタンとしてセットアップする事ができます。さらに、ソフトキーや関連するハード ボタンを使っていくつかの機能にアクセスすることもできます。

Cisco IP 電話 6821 では、ハード ボタンの数が限定されています。ほとんどの通話機能にはソフトキーを使ってアクセスできます。

用語の違い

次の表は、*Cisco IP* 電話 *6800*シリーズ マルチプラットフォーム フォンユーザ ガイドと*Cisco IP* 電話 *6800*シリーズ マルチプラットフォーム フォン管理ガイドの用語の相違点についてまとめたものです。

表 *1 :* 用語の違い

ユーザ ガイド	アドミニストレーション ガイド
メッセージ インジケータ	メッセージ受信インジケータ（MWI）またはメッセージ受信ランプ
ボイスメール システム	ボイス メッセージ システム
[電話（Phone）] Web ページ	設定ユーティリティ